

大学コンソーシアム富山 平成 30 年度「とやま地域学」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 平成 30 年度共同授業科目「とやま地域学」
実施機関	富山国際大学
趣旨・目的	富山の歴史・文化、富山湾、立山連峰に代表される自然環境、そしてものづくりをはじめとする産業など、データやフィールドワーク(現地研修)を通して「とやま」を知ること、そして 21 世紀の富山や世界の姿を展望する。
開催日時	平成 30 年 9 月 3 日(月)～6 日(木)の 4 日間 1 日 4 コマ×4 日間の集中講義
開催場所	富山駅前 CiC ビル 5 階 駅前キャンパス研修室 1(富山市新富町 1-2-3)
参加人数	学生 32 名 【内訳】・富山大学 11 名 ・富山県立大学 2 名 ・高岡法科大学 5 名 ・富山高等専門学校 3 名 ・富山国際大学 11 名
事業内容	<p><b>【2018 年度概要】</b></p> <p>2016 年の新幹線の開業以来、国内外からの観光客をはじめ来県者が多くなっています。一方で、少子高齢化が一段と進み、地方の活力低下が懸念されることから、2018 年から富山県の新総合計画がスタートしました。</p> <p>新しい時代に対応した一人ひとりのライフスタイルの確立が求められます。今年度のとやま地域学では、「富山の魅力と宝もの発見」をテーマに、大学生の皆さんに、富山を知り、魅力を発見してもらいたいと考え企画しました。データから知る富山、富山の歴史・文化、富山の特徴でもある森、川、海などの自然環境から、富山の暮らしを理解し、これからの活力ある富山の地域づくりについて各自が考えることを目指します。</p> <p><b>第 1 日目：9 月 3 日(月)</b></p> <p>①データから見る富山の姿 ③富山の将来を考える枠組み ④今後の富山づくり (富山地域学研究所長(元富山国際大学教授)浜松 誠二 氏)</p>   <p>②富山の政策と未来を語る (富山県知事 石井 隆一 氏)</p>  

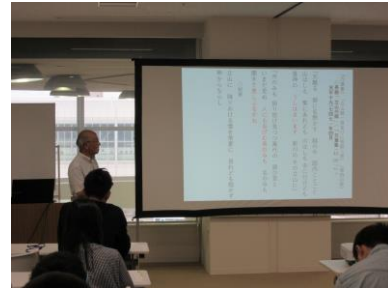
**第2日目：9月4日(火)**

⑤富山県の歴史と文化を学ぶ①

⑥富山県の歴史と文化を学ぶ②

⑦富山県の歴史と文化を学ぶ③

(前富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原寛 氏)



⑧富山の文学・文化・産業

※⑧は台風21号の影響により午後休講(9月6日に振替)

**第3日目：9月5日(水)**

⑨富山の自然—富山湾のさかな—

(富山県農林水産総合技術センター水産研究所研究員 小塚 晃 氏)



⑩富山の自然と災害—土木史からみる富山①—

⑪富山の自然と災害—土木史からみる富山②—

(土木学会土木広報センター 土木リテラシー促進グループ長 緒方 英樹 氏)



⑫富山の自然・文化的環境と世界遺産

(富山県総合政策局企画調整室 参事 松島 吉信 氏)



第4日目：9月6日(木)

⑬～⑮現地研修

立山カルデラ砂防博物館、富山市流杉浄水場、富山市郷土博物館  
(富山国際大学 現代社会学部 教授 尾畑 納子 氏)



立山カルデラ砂防博物館



富山市流杉浄水場



富山市郷土資料館

⑧富山の文学・文化・産業

(富山市郷土博物館 主幹学芸員 坂森 幹浩 氏)

